

租税教育実践レポート

わたしたちの暮らしと税金

登米市立登米小学校教諭 6学年 佐藤 正彦

実施年月日 令和4年6月23日 33名

1 実践計画・指導のねらい

多くの児童は、日常生活の中で「税金」についての意識は低く、「税金」がどのように使われているか知らずに生活している児童がほとんどと言える。本実践において、社会科の授業を軸に「税金が自分たちの生活を豊かにするために」使われており、国民が納税することが義務である意味を理解させたい。さらにゲストティーチャーを招いての租税教室を設定したり、税に関する標語を考えさせたりすることを通して、より「税金」への理解を深めさせていきたい。

2 単元構成・実践の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問（○）、児童の反応（●）、使用教材等（□）
1	・国の政治と選挙の仕組みについて知るとともに、税金が予算に基づいて、国民の生活に活用されていることを理解する。	○ <u>国会の働きについて調べよう。</u> ● 国会は国の法律や予算を決めている。 ● 国民は選挙により、民意を反映した代表者の議員を選ぶことで政治に参加していることと、議員は予算の内容を決める役割を担っている。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編」、デジタル教科書
2	・税金の働きについて調べ、公共のサービスや施設にかかる費用の多くは、税金が活用されていることを理解する。	○ <u>税金で何ですか。</u> ● 「さとふる」ってテレビで見たことがある。 ● 消費税を払っている。 ● 税金は身近な生活で、活用され役に立っている。 □ 教科書「新しい社会6 政治・国際編」、デジタル教科書
3	・登米法人会からゲストティーチャーを招き、「租税教室」を実施し、税金の種類や使われ方、税金の必要性について理解を深める。	○ <u>税金が使われているものと使われていないものに分けよう。</u> ● 学校、公民館、消防署、警察署…は税金が使われている。 ○ <u>税金がなくなった世の中はどうなるでしょうか。</u> ● ゴミが町中にあふれてしまう。 ● 事故が起きても、警察署や救急車に来てもらえない。 □ 「マリンとヤマト 不思議な日曜日」 デジタル教材
		
4	・税金について学んだことを基に、税金の大切さを標語に表す。「税に関する標語」に応募する。	○ <u>税金の大切さを伝える標語を考えよう。</u> ● 「納税で 笑顔あふれる 明るい未来」 ● 「税金は 豊かな暮らしの あいことば」 ● 「税金は 暮らしの安心 支えてる」 ● 「税金で 明るい未来に 変えていこう」 ● 「消費税 私も国を 動かしている」
5	・税金の学習で学んだことを振り返る。	○ <u>学んだことを振り返り、税金についての考えを書こう。</u> ● 納税の義務は一人一人が守るべきことであり、自分が大人になったら、税金をしっかりと納めていこうと思いました。 (アンケートとして提出済み)

【指導のポイント】＜1時間目＞

国民主権について考えさせる中で、国民の意見を反映させ、税金の使い道が決められていることに気付かせることができた。

【指導のポイント】＜2時間目＞

身近なところで税金がたくさん活用されていることに気付かせることができた。

【指導のポイント】＜3時間目＞

DVDを鑑賞したり、クイズに答えたり、1億円のレプリカに触れたりすることを通して、税金への興味関心を高めるとともに、税金が自分たちの生活に不可欠であり、納税の義務への理解を深めさせることができた。

【指導のポイント】

＜4・5時間目＞

学習のまとめとしての感想を書かせるとともに、税金の大切さを自分の言葉で表現させることで、より税金の大切さを実感させることができた。

3 実践の成果（◎）と課題（◆）

- ◎ 「教科書での学習」「租税教室」「税に関するコンクールへの参加」と関連付け、多様な方法で税について考えたり、知識を見付けたりする機会を設定したことで、税金の必要性や税金の使い道、納税の義務の意義についての理解を深めることができた。
- ◎ 外部よりゲストティーチャーを招いて学習したことで、楽しく学習に取り組ませることができた。
- ◆ 税金の種類について、詳しく学習する場面を設定できなかった。タブレットでの家庭学習を取り入れるなどの工夫が必要である。